

## 令和8年度 第1回石狩市厚田地域協議会 会議録

【日 時】 令和8年4月23日（木） 18：30 ～ 19：05

【場 所】 厚田保健センター 1階多目的ホール

【出席者】 9人（10人中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	笹谷 清一	○	委員	河合 保郎	○	委員	村本 龍一	○
副会長	東 幸子	○	委員	築田 敏彦	×	委員	本間 貴士	○
委員	大内さつき	○	委員	菅原 隆道	○			
委員	森田 瞳	○	委員	今 光江	○			

特別職                   ～ 加藤市長  
 厚田支所               ～ 鍋谷支所長  
 企画課                 ～ 大川課長、上原主査  
 地域おこし協力隊   ～ 清水隊員  
 集落支援員           ～ 八木沼支援員  
 事務局（地域振興課）～ 渡部課長、近藤主査

【傍聴者】 なし

- 【次 第】
1. 開会
  2. 委嘱状交付
  3. 市長あいさつ
  4. 職員紹介
  5. 協議事項
    - (1) 会長及び副会長の選任について
    - (2) 地域協議会の運営方法について
    - (3) 石狩市総合戦略推進懇話会委員の推薦について
  6. その他
  7. 閉会

## 1. 開会

【事務局（渡部課長）】

定刻となりましたので、令和8年度第1回厚田地域協議会を開会いたします。

会長、副会長選任までの間、私が司会進行を務めますのでよろしくお願いいたします。

## 2. 委嘱状交付

～委嘱状の机上交付、委員紹介～

## 3. 市長あいさつ

【加藤市長】

皆さんおぼんでございます。10名の委員方、お引き受けいただいたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございます。10名の委員さんのうち2名の方は今回初めて地域協議会の委員になるということで、どうか2年間よろしくお願いいたしますというふうに思います。

法律でできた地域協議会から条例に基づく地域協議会にという意味では、新たにスタートするような形であります。私から皆様方にぜひともお願いをしたいのは、こういう法律だとか条例に基づく審議会というのは、どうしても事務局主導型にはなるんですけども、それではやはりダメなんだろうと言うふうに思っています。過去の反省を踏まえても、諮問して答申をする内容と地域の課題・問題を、この地域協というところで議論をして、この厚田の地をどうしたらいいんだ、どうすることが地域振興・地域の発展につながるということをぜひとも念頭に置いていただいて、活発な議論をしていただければと思います。

この厚田エリアでは、厚田こだわり隊、ライフサポートの会、そして子どもの居場所づくりであるとか、着実にこの地域住民の皆様方が主体的になる事業展開というのが図られてるんだというふうに思ってます。合併してから21年です。色々な課題もあります。例えば本年3月31日で厚田線の中央バスの撤退。なんとか存続したいなと思っても、やはり運転手さんが不足でどうにもならない。しかしながら我々は、なんとかこの地域の3交通事業者のご理解を得て、完璧ではないけれども4月1日から厚田線を走らせていただいております。おそらくこれも、今現実に運行はしてますけれども、その中でもまた課題が出てくるんだろうと思います。そういう課題も含めて議論をしていただければと思います。

併せて、後ほど事務局から説明があると思いますが、合併した時に厚田と浜益にはそれぞれ1億円の地域づくり基金というものがありませんでした。しかしながら厚田さんの場合にはまだ7900万残ってます。決してそれを使うことが目的ではなくて、どうしたらこの財源を活用してこの地域エリアを持続可能な将来ある地域の展望、というところに財源を使うことに皆さんで議論をしていただければというふうに思ってます。2年間という期間でありますけれども、どうか皆さん方はその袴（かみしも）を着たような形ではなくて、地域の声を吸い上げて本音の部分で活発な議論をしていただくことを大いに期待をしますので2年間どうぞよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございます。

## 4. 職員紹介

## 5. 協議事項

(1) 会長及び副会長の選任について

【事務局（渡部課長）】

それでは、会長及び副会長の選任について進めますが、「石狩市厚田地域協議会及び浜益地域協議会条例」第5条第1項に、「会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める」と規定されております。選任にあたり、委員の皆さんから何かご意見はございませんか。

特に無いようでしたら、事務局案を申し上げます。「会長に笹谷委員、副会長に東委員」をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

それでは、会長を笹谷委員、副会長を東委員をお願いしたいと思います。笹谷会長、東副会長、よろしくお願いいたします。このあと会長からご挨拶いただき、その後の進行は会長にお願いいたします。

【 笹谷会長 】

ただいま会長に選任いただきました笹谷でございます。大変微力ではございますが、副会長と力を合わせながら円滑な協議会運営に努めてまいりたいと思います。委員の皆さまのご協力をお願い申し上げまして、簡単ではございますがごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 地域協議会の運営方法について

【 笹谷会長 】

ここから私の方で進行いたします。次に、地域協議会の運営方法についてです。事務局から説明をお願いします。

【 事務局（近藤主査） 】

はじめに、会議の開催時刻及び開催場所につきまして、開催時刻は18時、開催場所は厚田保健センターまたは望来コミセン、これを基本にしたいと考えております。時期は未定ですが、会議の回数は年4回程度を見込んでいます。

次に会議録の作成方法についてです。地域協議会は、市民参加条例に規定する「審議会」として位置づけられており、会議録の作成が義務付けられています。会議録の作成方式は、「全文筆記」と「要点筆記」があります。これまでの地域協議会では、会議の内容を分かりやすくまとめ、後で見返したときに協議のポイントが把握しやすいことから要点筆記としておりました。今回も同様に要点筆記としながらも、できる限り発言等、内容を忠実に再現できるよう努めたいと思います。

また、会議録の決定につきましては、会議録署名委員を設けるのではなく、会長が会議録の最終確認を行い、会長の署名または押印をいただくという形で考えております。

なお、会議録作成のため、会議を録音しています。スピーカーからの音を拾う形でレコーダーを設置していますので、発言の際は必ずマイクを使って話をするようお願いいたします。私からの説明は以上です。

【 笹谷会長 】

ただいまの説明につきまして、委員の皆さまからご質問、ご意見等はございますか。

特に無いようですので、事務局案のとおり進めることでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。それでは、そのように進めることといたします。

(3) 石狩市総合戦略推進懇話会委員の推薦について

【 笹谷会長 】

次に、総合戦略推進懇話会委員の推薦についてです。事務局から説明をお願いします。

【 事務局（近藤主査） 】

石狩市総合戦略推進懇話会は、石狩市創生総合戦略を策定し、地方創生の一層の充実・強化に取り組むとともに

に、各施策の効果検証や意見交換等を行うために設置しているもので、協働の理念に基づき、学識経験者、公募市民、産業団体、そして市内各分野で活動している団体からの推薦者で構成されています。

これまでの委員が令和7年度末をもって任期満了となったことから、今回新たに、令和8年4月から令和10年3月までを任期とする委員について、地域協議会から1名推薦してほしいと市から依頼がありました。

選出にあたりまして、まずは委員の皆さまの中から立候補を募りたいと考えております。以上、よろしくお願いいたします。

【 笹谷会長 】

ただいま事務局から説明がありました。総合戦略推進懇話会委員について、立候補される方はいらっしゃいますか。

立候補が無いようですので、私が務めるということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。それでは私が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

6. その他

【 笹谷会長 】

皆さまから何かありますか。無ければ事務局からお願いします。

【 事務局（渡部課長） 】

(1) 「厚田区地域協議会」からの引継ぎ事項について

- ・今後の地域協議会運営や地域づくりを考えていく上での参考に。
- ・基金については、前協議会から「地域でできることは地域で」という考えをもとに、地域の課題や提案を踏まえ、議論を重ねながら厚田地域の特色を生かした取組に活用していくことを期待すると整理されている。引き続きこういった考え方を踏まえ、地域の声を拾いながら基金の活用を検討していただきたい。

(2) 竹あかりライトアップイベントについて（地域おこし協力隊 清水隊員）

- ・5月23日、24日、6月6日、7日に恋人の聖地認定20周年事業として、厚田展望台の竹あかりライトアッププロジェクトを進めている。

(3) 今後の地域協議会の開催について

- ・今後は必要に応じて開催するので、そのときに日程をお知らせする。

【 笹谷会長 】

ほかに何かありますでしょうか。

【 大内委員 】

地域おこし協力隊は、今後募集とかするのでしょうか。

【 事務局（渡部課長） 】

竹林隊員が2月で卒業し、現在隊員は1名です。今まで協力隊は2名という形を基本に考えてきましたので、引き続き募集に向けて準備をしております。予算は付いておりますので、今後検討委員会にかけて、7月から10月までに

は着任できるようなスケジュール感で動いているところです。

【 本間委員 】

基金のことについて聞きたいのですが、この余っている 7,900 万円を厚田で使えるというのは、時期的なりミットがあるのかをお聞きしたいのと、使い途として地域協議会でこういうふうに使ったらどうですかというのを市に上げて、どういう風な手順でそれが認められたり採択されたりするのかを教えてくださいたいです。

【 事務局（渡部課長） 】

基金について制限は無く、7,900 万が無くなるまでは基金として積んでいるということでございます。

使い方についてですが、もちろん地域協議会から提案して使うことも可能ですし、今までの使い方としては地域振興団体が提案をして地域協議会でその是非を判断して市の方へ提案をする流れです。地域協議会が行った例としては、地域協議会 10 周年の時に「地域協議会のあゆみ」というものを作った経緯がございます。そのほかは地域振興団体が多いかなと思っております。「やまどりの会」ですとか、「厚田こだわり隊」、「ゆめ倶楽部」、水彩画の「厚田アクアレル実行委員会」などで使われた経過がございます。

【 本間委員 】

地域協議会が使うのではなく、地域振興団体がこう使いたいと地域協議会に上げて、地域協議会がいいんじゃないですかってなったらそれが使えるということでしょうか。

【 事務局（渡部課長） 】

そのパターンもございますし、地域協議会自ら使うことも可能です。

【 本間委員 】

ハードでもソフトでも、箱モノでも認められればいいということですか。

【 事務局（渡部課長） 】

はい。そうっております。

【 東副会長 】

浜益とかは、基金を使って防災グッズみたいなのを全戸配布しています。

【 森田委員 】

要綱とかあれば見たいなっております。使い方とか、補助率のようなものが決まっているのか。その辺が多分、委員の方も分からないと思います。

【 事務局（渡部課長） 】

分かりました。準備して配付させていただきます。浜益については、連町の事業として防災グッズを配布した経過がございます。ハード的だと、さくらんぼの雨避けは伺っております。基本的には、地域が必要な事業であれば地域協議会に諮っていただいて判断し、市の方に要求させていただく、流れはそのような感じになります。今まで、地域協議会で諮って市の予算が付かなかったことは、少なくとも厚田の件では無いです。

7. 閉会

19時05分 閉会

令和 8 年 5 月 25 日 議事録確定

石狩市厚田地域協議会

会 長 笹 谷 清 一